

よいことの
ために
手を取りあおう



Weekly Bulletin

UNITE FOR GOOD

よいことのために手を取りあおう

国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツォ

静岡ロータリークラブ ●例会日／毎週月曜日12:30～13:30 ●例会場／グランディエール ブケトーカイ TEL.273-5225
●会長／児玉 俊明 ●副会長／坂上 康 ●幹事／川崎 裕司 ●副幹事／山本 芳司・瀧上恵美子

2025-2026

10月20日



第3753回例会

ゲスト卓話「ポリオ根絶を目指して」



●ロータリーソング●



副ソングリーダー
鈴木 礁君

●ゲスト紹介●

国際ロータリー第2620地区

ポリオプラス小委員会

副委員長 鈴木 健夫 様 (藤枝南 RC)

委員 原 兄多 様 (せせらぎ三島 RC)

補助金小委員会

副委員長

依田 邦彦 様 (静岡中央 RC)

米山奨学生

トラン・スアン・ヒョウ 様

●会長挨拶●

会長 児玉 俊明 君

少し体調を崩しておりまして、少々残念な声で
申し訳ございません。この処、旅行等が多く無
理が祟ってしまったと思います。

さて、昨日は島田ロータリークラブの

3000回記念例会があり、ご招待を頂き伺ってまいりました。このことについて少しお話をさせていただきます。まず例会前に少し時間があつたので大井神社に参拝してまいりました。



これだけでも、身が清まった思いがして、いい気持ちで例会を迎えることができました。例会もとてもシンプルで、主な来賓も、稲葉ガバナー、若林ガバナーエレクト、杉本ガバナー補佐と私の4名で、あとは静岡第4グループの各クラブの方と長野の茅野ロータリークラブから大挙10名の方がみえてました。少し驚いたのは『ロータリーソング』の後、『友情タイム』というのがあり、皆で握手し合うものでした。両隣とかだけでなく結構離れたところの方とも握手しました。来賓祝辞は稲葉ガバナーと私だけでした。記念講演は静岡の誇る『久保ひとみ』さんで、とても面白かったです。その後祝賀会があつたのですが、そこでも少々驚き。これはテーブルの席札ですが、島田ロータリークラブ市川会長の直筆です。出席者80数名分すべて直筆でした。手作り感がありとてもいい例会でした。本日は以上です。

●委員会報告●

社会奉仕委員会 山田知広委員長

11月8日のエンドポリオキャンペーンのお知らせです。10-16時の間でJR清水駅東口（みなと口公園）で行います。静岡RCは12-14時の2時間を活動予定としています。現在申し込みが会員8名の他、サレジオ



高校の生徒5名で13名の予定ですのでお時間ある方はご参加を宜しく願います。

同好会小委員会 川池 朗委員長

静岡RCの第2回のゴルフコンペのご案内です。

11月26日～30日に朝霧ジャンボリークラブにおいて8時スタートで4組ずつ確保しています。プレー代がキャディ



さん付ということでやや高めですが、是非皆さん参加をお願いします。

●おめでとう●

【誕生日お祝い】

●●月●●日 野坂浩史さん

●●月●●日 浅原諒蔵さん

●●月●●日 川池 朗さん

【結婚記念日】

●●月●●日 原田兆啓さん・みどりさん

●●月●●日 箕田智則さん・文美さん

●●月●●日 村山栄之さん・恵子さん

●●月●●日 宮部理香さん・基さん

●●月●●日 山本達訓さん・啓子さん

●●月●●日 佐藤智宣さん・和美さん

●●月●●日 山口貴史さん・理沙さん

●●月●●日 児玉俊明さん・純子さん

●●月●●日 村越 登さん・潤さん

●スマイル●

山田知広さん

本日 社会奉仕委員会担当例会です。地区より鈴木様、原様、依田様お越しくださり、ありがとうございます。後程卓話宜しく願い致します。

浅原諒蔵さん

誕生日祝い、ありがとうございます。満73歳

になりました。先週、交通アクセスが不便で、然も余り行く機会の無い四国の足摺岬と四万十川へ行って来ました。これからは、華麗に年を重ねて行きたいと思います。

歌川鉄夫さん

誕生日祝いありがとうございました。いよいよ●●へのカウントダウンが始まりました。一年かけて落ち着いた大人になります。

川池 朗さん

誕生日のお祝いありがとうございます。●●歳になりました。益々元気に過ごしたいと思っています。

野坂浩史さん

●●月●●日で●●歳になりました。人生100年時代！！まだまだ楽しみたいと思います！！健康に留意して頑張って参ります。皆さん、ありがとうございます！！

児玉俊明さん

結婚記念日のお花ありがとうございました。今年は●●周年でした。頑張って金婚式目指します。

坂上 康さん

結婚記念日のお花ありがとうございました。

原田兆啓さん

この度も結婚記念日の御祝のお花をありがとうございます。おかげ様で家の中が温かくなりました。毎年本当にありがとうございます。

村越 登さん

結婚記念日に素敵なお花をありがとうございます。●●回目の結婚記念日、まずは銀婚式を通り点になるように頑張ります。

村山栄之さん

●●回目の結婚記念日に美しいお花をありがとうございました。今年1年、夫婦喧嘩なくすごそうと思います。

山口貴史さん

この度は立派な花束をいただき誠にありがとうございました。●●年目を迎えましたが、結婚

式以来お祝いをいただくのは初めてのことで、夫婦共々大変嬉しく思っております。また来年もお祝いいただける様、仕事にロータリーに精進して参りたいと思います。

佐藤智宣さん

素敵なお花をいただきありがとうございます！これを良い機会に夫婦の会話を増やせるよう努力します。

箕田智則さん

●●月●●日の結婚記念日にお花をいただきました。ありがとうございました。

神谷真太郎さん

先日の人間ドッグで大腸ポリープが見つかり、その場で切除していただきました。医療技術の進歩と医療従事者の方への感謝と共にロータリーの皆様への健康診断の啓蒙活動の意味も込めてスマイルさせていただきます。

満席スマイル 10番 小林さんテーブル

石川雅章さん

本日より6日間、米山奨学生のヒョウさんが当社にてインターンに参加しています。

またチラシを入れさせていただきましたが、上映40周年、映画のロケ地である清水の活性化を目指すために12月13、14日に「清水ビバップハイスクール高校与太郎祭」を企画致しました。俳優の仲村トオルさんを招き、清水を盛り上げます。クラウドファンディング、企業協賛募集中です。地域活性にご参加下さい！

●出席報告●

例会日	全会員数 (出席計算人数*)	出席 会員数	欠席 会員数	暫定 出席率
10/20	109名	61名	48名	55.96%

※出席免除会員を引いた会員数。

出席免除会員は欠席しても出席扱いになるため。

欠席した方は年度内にメイクアップしましょう！

● ゲ ス ト 卓 話 ●

「ポリオ根絶を目指して」

国際ロータリー第2620地区

ポリオプラス小委員会

副委員長 鈴木 健夫 様 (藤枝南 RC)

委員 原 兄多 様 (せせらぎ三島 RC)

ポリオ (急性灰白髄炎) の被害と根絶活動の歴史、現状、そして私たちができる具体的な支援について共有された。かつて小児麻痺と呼ばれたポリオは、子どもで2~5%、成人で15~30%の死亡率を持ち、ワクチン普及前には年間35万人が罹患した。日本でもかつて流行し、多くの死者が発生した歴史がある。重症例では「鉄の肺」と呼ばれる強制呼吸器の中に入って生活せざるを得ない患者もあり、約70年間この装置の中に生き、弁護士となりロータリアンとして活動したポール・アレクサンダー氏の人生が紹介された。氏は2024年に78歳で逝去したが、その生き様は人間の可能性の象徴として語り継がれている。



国際ロータリーは1979年、フィリピンで600万人の子どもへの予防接種プロジェクトを皮切りに、1985年に「ポリオプラス」を創設して1億2,000万ドルの募金に挑み、1988年にはWHO、ユニセフ、米国疾病対策センターCDCと連携してポリオの世界撲滅へと動き出した。2000年には豪州から中国までの西太平洋地域での撲滅宣言に到達したものの、世界全体の根絶目標は2018年へ延長され、完全根絶には至っていない。現在(2025年時点)、常

在国はパキスタンとアフガニスタンの2カ国のみである。ロータリーはこれまでに122カ国で30億人の子どもに予防接種を進め、患者数を99.9%削減するまでに至った。ロータリーの「ポリオプラス」は根絶が公式に認定されるまで他の全プログラムより優先される特別事業であり、資金・人材・啓発の面で引き続き最重要の取り組みと位置づけられている。資金面では、第2620地区の2025~26年度目標として「一人あたり年30ドルの寄付」が掲げられ、ビル&メリンダ・ゲイツ財団によるマッチングでロータリーの5,000万ドル寄付に対し1億ドルが上乘せされる。身近な参加方法としてはロータリーカードの作成・利用が推奨され、カード会社から年間1,000万超の寄付に結びついている。2024年から今年6月までの利用総額に対して約5,000人分のワクチン提供が可能となっている。その他、日本郵便の協力で古着回収を行う「古着でワクチン」活動や、新提案として地域企業と連携する「会社でワクチンキャンペーン」を紹介。2,000円のステッカーを販売し、売上の半額を寄付に充当する仕組みで、10月24日の世界ポリオデーに向けた啓発と資金調達の加速を目指す。総じて、ポリオ根絶は目前にあるが最後の2カ国(パキスタンとアフガニスタン)の終息と継続的な接種体制の維持が鍵であり、個人・クラブ・企業が寄付やカード利用、古着提供、啓発活動を通じて「最後の一押し」を担うことの重要性が強調された。

